

# Die Eiche ティ・アイヘ

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in der Präfektur Chiba

事務局 〒274 船橋市飯山満町2-681 ワールド・ナッシング・ホーム内 / TEL 0474-67-6111

## ハンドボール・ドイツチーム役員歓迎交流会 文化講演会 & ビール祭り開催される!



去る8月28日(木)の夕刻から船橋市内の東魁楼に於いて、ハンドボール・ジャパンカップに参加のため来日したドイツチームの歓迎交流会が開催された。

このジャパンカップは、日本ハンドボール協会創立60周年の記念行事の一つとして横浜市と船橋市を会場に開催されたもので、ドイツチームもその参加国の一員として来日していたもの。

当日ドイツ側はマクデブルク男子チームのシュツテ会長以下11名の役員のほか、チームの取材のために同行していたマクデブルクテレビ局のカメラマンなどが3名、一方の日本側は、当日独協会加藤会長、国枝副会長など8名の理事のほか、日本ハンドボール協会97ジャパンカップ実行委員会副委員長の東根明人氏(順

天堂大、当協会会員)が参加した。開会にあたり、加藤会長が歓迎の挨拶を行い、ドイツチームを心から歓迎すると共に、先般日本を訪れたドイツのユール首相が日独両国の青少年の交流を深めて行きたいと語ったことを引き合いに出し、今回のジャパンカップがそのまたとない機会であることを強調し、ドイツチームの健闘を祈った。

続いて、マクデブルクチームのスポンサーであるヘルムート・ベント氏が歓迎会を催してもらったことに心から感謝の意を表する共に、ザクセン独日協会のミヒャエル・ゴゼビツシュ会長からのメッセージを伝え、あわせて同協会の活動状況をまとめた機関誌の最新号を日本側に手渡した。次に、ライプツヒ・ハンドボール部長のアクセル・エールハルト氏が感謝の言葉を述べ、部の活動の簡単な紹介をした。

さらに、マクデブルク州経済省経済局長のマンフレット・マース氏が挨拶に立ち、マクデブルク商工会議所所長からの友情のメッセージを加藤会長宛てに伝え、感謝の言葉を述べた。そのあと乾杯に移り、ドイツチームを代表してブンデスリーグのDr.ハルトムート・ザントナー氏が乾杯の音頭をとり、和やかな懇談に移った。その懇談の際に、ドイツ側から日本側にワインやチームの記念写真のほか記念のワッペンなどがプレゼントされた。

その間、同チームに同行していたマクデブルクテレビ局のチームが取材を行っていた。最後に、国枝副会長の音頭によりドイツチームの健闘を祈って乾杯が行われ、さらに純日本的な一本締めを行って散会した。

### ☆文化講演会 & ビール祭り

当協会恒例のビール祭りは、ドイツのオクトーバーフェストの時期に合わせて9月27日(土)にジョン万次郎船橋店で実施された。当日は、木村理事の司会で、先ず加藤会長の挨拶があり、続いてベルリン日独センター総裁の木村敬三元駐独大使により「ドイツ雑感」の演題で講演が行われた。

木村総裁は、19世紀以降の両国の歴史・政治経済・文化の類似点・相違点を指摘され、大いに参考となった。尚、10年前に旧帝国大使館を改装して発足したベルリン日独センターは、1995年同市の首都化に伴い、日本大使館になり、セン

ターも移転する由。

4時過ぎより、国枝副会長の乾杯の音頭でビール祭りに移り、土生氏のアコーディオン伴奏で帝京平成大学美浦教授、丸山みどりさんの歌唱指導でドイツ民謡を合唱、福引きを楽しんで6時30分閉会した。



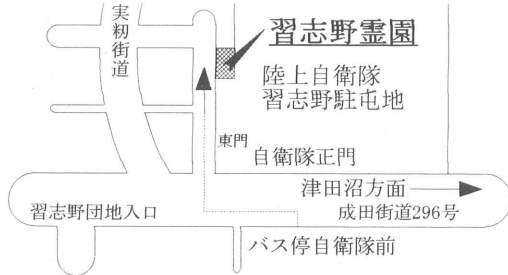
## 催物案内

- 滞日ドイツ人(主に公費留学生)との成田山詣で  
(財)日独協会主催・千葉県日独協会協賛/10月10日(金)  
/成田山見学の後、両国駅ピアースステーションで懇親会を  
開催/会費3000円(交通費は自己負担)  
集合場所: JR成田山新勝寺境内入口の「仁王門」前の  
広場/10時集合(集合場所と時間が変更になっています)  
申込み: 直接、(財)日独協会へ 03(3265)3411
- ドイツ語講習会船橋教室 1997年10月~1998年3月コース  
(財)日独協会主催・千葉県日独協会協賛  
【入門ドイツ語】 毎週土曜日/10時~12時10分  
講師: 岡村三郎先生(早稲田大学教授)  
【ドイツ語初級会話】 毎週土曜日/13時~15時10分  
講師: Rita Briel 先生(慶応義塾大学教授・獨協大学講師)  
※各コースとも120分×20回、定員15名  
会場: 武藤会計事務所(船橋市本町4-11-17)  
0474(23)7419(但し、開講日のみ通話可)  
受講料: 50,000円(20回×2500円)  
問い合わせ申込先:(財)日独協会へ 03(3265)3411
- 文化講演会  
10月25日(土)/午後2時~ 講師 鈴木淑弘(ベ-ト  
-ホ-ン協会理事)/テーマ:「第一次世界大戦ドイツ軍人捕虜  
と第九交響曲」/参加費無料/講演終了後、懇親会を予定  
(会費5000円)/会場: 船橋市浜町公民館 0474(34)  
1405/申込み: 同封の返信がきで18日(土)までに申し込む
- クリスマスの集い (財)日独協会主催/ 会費10,000円  
12月8日(月)/午後6時30分~/パレスホテル  
問い合わせ申込先:(財)日独協会へ 03(3265)3411

第一次世界大戦習志野収容  
ドイツ軍人慰霊碑参拝  
のご案内は 11月16日と23日  
ドイツ国民哀悼の日にあたる  
11月16日(日)と同日23日(日)  
に慰霊碑参拝を行います。本年  
は、慰霊祭及び直会はいませ  
るので、各自、自由参拝になり  
ます。尚、在日ドイツ連邦共和  
国大使館ペーター・トロプシュ  
ク国防武官ならびに当協会役員  
の慰霊碑参拝は、23日(日)11  
時の予定となっています。

### 【交通案内】

—JR津田沼駅北口下車— 新京成バス「北習志  
野駅行き」「高津団地行き」又は、「自衛隊前行き」  
乗車(約20分)/自衛隊前下車、徒歩7分



—新駐日ドイツ大使にフランク・エルベ氏— 8月5日着任  
氏はインスブルック、ボンンの各大学で法律を修め、弁護士になり  
1971年外務省入省。各地在外勤務を経てゲンシャ-外相(当時)  
のもとで大臣室長、1992~93年政策企画局長、以後駐イタ'大使  
等を務めた。尚、ディークマン前大使はイタ'大使に転出された。

## 当協会機関誌・通信 「Die Eiche」(ディ・アイへ)の由来

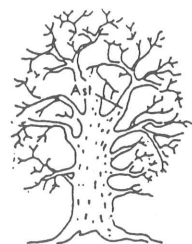
本通信名「Die Eiche」(ディ・アイへ)は、昨年(1996年)11月17日(日)「ドイツ国民哀悼の日」、船橋市営習志野霊園に建つ第一次大戦収容所ドイツ病没者30名の墓前で当協会主催の第3回日独合同追悼慰霊祭が営まれ、「安らぎの木」として「Die Eiche」(ドイツカシワ)の若木が記念植樹されたことに由来する。

この若木は、1936年ベルリン五輪三段跳び16メートル世界新記録優勝者の田島直人氏(1912~1990)が金メダルと共に授与された「ドイツカシワ」苗木〔南独シュヴァルツヴァルト(黒い森)原産で今も京大農学部で繁茂する「田島オリンピックオーク」といわれる記念樹〕の実から生えたもので、当日贈呈者の田島麻夫人(1932年ロス五輪陸上選手、東京五輪シャペロン)が大橋和夫船橋市長と共に植樹された。その葉は勝利の褒章である。

尚、本霊園は昭和45年に設置されたが、それ以前に習志野旧陸軍墓地で荒廃していたドイツ軍人墓地を昭和30年(1955)11月13日(日)「ド

イツ国民哀悼の日」に御影石の慰霊碑に建て替え除幕した第1回日独合同追悼慰霊祭の折りに、初代日独協会(明治44年創立し第一大戦勃発で停会)理事長・東大名誉教授(薬学)長井長義博士(1845~1929)が明治19年(1886)新婚のテレーゼ夫人同伴帰国に際し、夫人の郷里(ラインランド)から持ち帰った「月桂樹」の分木が子息の(財)日独協会理事長長井重歴山氏(故人)より寄贈植樹されていた。その葉は栄光、勝利の褒章である。

また、「ドイツ国民哀悼の日」(Volksrauertag)とは、毎年クリスマス6週間前の日曜日に第一次・第二次大戦のドイツ戦没者を追悼する日に当たり、昨今では国外約500ヶ所のドイツ戦没者墓地でも追悼され「和解と相互理解、平和について思いを新たにする日」ともなっている。



Eiche